

たけのご幼稚園とラジオのおつちゃん(4)

庄籠しょうもり 道子

「籠先生、もみに負ける」の巻

雨が降った翌朝だった。園庭のトランポリン、まわりは乾いているが、真中だけ濡れていた。

これじゃあ、乗れへん。しゃあない。乾くまで

待ってこ。

三人組は、ぶらんこに乗った。

なみかときまぎがトランポリンに來た。ティッシュ

でふきはじめた。籠先生がそれを見て、

「あら、ティッシュじゃなくて、ぞうきんでふいて

よ」

と言って、どこかへ行つた。

そうそう、早くふいてきれいにしてね。

ふたりは廊下にぞうきんを取りに行つて、トランポリンをふいた。ごしごしふいた。けっこう大変そ

う。ふたりは、廊下にぞうきんを返しに行つた。

今だ。籠先生はいない。ふたりの様子をぶらんこ

に乗って見ていた三人組は、さっとトランポリンに乗った。

へへへ、ご苦労さん。おれたち、こうやって誰かがふいてくれるのを待っていたのさ。

ぞうきんを返してきたなみかとまきがトランポリンに戻ってきた。トランポリンは、三人までしか乗れないことに決まっている。ふたりはげんな顔をしている。早いもの勝ちだもんねー。

その時、誰かが走ってきた。籠先生だった。顔が真っ赤になって、ブルブル震えている。まずいと、三人組は思った。あわててトランポリンから降りた。しかし、時すでに遅かった。しっかりと見られていたらしい。

「あんたたち、自分のしたこと、恥ずかしいと思わへんの？ なみかちゃんたちがぞうきんでふいてるところ、ぶらんこに乗って見てたやろ！ セヤの横取りするなんて……そんな……そんな……ひきょうもの！」

籠先生はすごい剣幕でわめく。三人は、また青くなつてうなだれた。

もみが登園してきた。

「おはよう」

籠先生がもみのところに行く。三人組はほっとして、めくばせした。籠先生だけは怒らせないように、あんなに気をつけてたつもりだったのになあ。

油断したな。

籠先生はうわぐつにはきかえて待つてるのに、もみはなかなかはきかえない。

「田植えが忙しくて、家の中がちょっとごたごたしてるからやろか、もみ、ごきげんなめなんですか……お願いします」

もみのお母さんが説明して帰っていく。

「もみちゃん、くつはきかえて、早く遊ぼうよ」
籠先生がやさしく言う。

「いや」

と、もみ。

「あっそう。そんなら、ずっと、そこに立つとき」

籠先生はさっさと行ってしまふ。

もみはあわててくつを脱いでげたばこのところまで行つた。だけど、今度はうわぐつをはこうとしな
い。あいこが籠先生に話しかける。

「あんなー、きのうなー、図書館行つたらな、おさ
るのジョージの本、あつたで」

「ほんと、よかつたねえ」

と、籠先生。

「もみちゃん、うわぐつ、はこうよ」

籠先生は、あいこと話しながら、もみに声をかけ
る。

「でな、先生。チョコレート工場のやつとトラック
のやつがあつたで」

と、あいこ。

「ほんでなー、ジョージがなあ、トラックになあ

……」

あいこは、籠

先生について

回つてあらずし

を説明する。籠

先生はもみにうわぐつをはかそうとやつきになつて
いる。

「それから、ジョージが……」

うわあ。あいこもしつこいなあ。籠先生、切れそ
う。

「あのねえ、籠先生もその本、持つてるから知って
るの！」

籠先生がピシャリと言つた。ほら切れた。あいこ
はびっくりした顔で籠先生から離れた。かわい

そー。

もみはまだうわぐつをはかない。籠先生をじらす
ように、うわぐつを持ってじっとしている。

「もみちゃん、うわぐつ！」



籠先生がきつい声で言った。

「いや！」

と、もみが、手に持っていたうわぐつを投げた。籠先生の目がますますつりあがった。

「なんで投げるの？ もみちゃん、うわぐつ、いらんの？」

「うん」

「……へー、じゃあ、ごみ箱に捨てていいんやね」

「うん」

「わかった。捨てる！」

籠先生は、もみのうわぐつを本当にごみ箱に投げ入れた。いつもなら、もみはあわててごみ箱からひろってはくのだが、きょうは知らん顔をして向こうへ行ってしまった。「ふん！」籠先生もどこかへ行ってしまった。

しばらく遊んでいると、

「あー！」籠先生の叫び声が出た。ごみを捨てても

どってきた用務員の田原のおばちゃんに向かって騒いでいる。

「あつ、ひよつとして、保育室のごみ箱のごみも捨てた？」

「うん、捨てたけど」

「えらいこつちゃ。もみちゃんのうわぐつ、入ったままやった」

田原のおばちゃんをあわててごみ捨て場に向かっていった。まだ収集車は来てなかった。籠先生は、ごみ袋をひつかきまわして、もみのうわぐつを救いだした。

「よかった。あつたー」

もみは、はだしで、にこにこしながら、それを見ている。

「完全に負けたわ」籠先生がくやしそうに言った。

もみが籠先生に勝つたらしい。おそるべし、もみ。三人組はもみに、こっそり拍手を送った。

(保育研究グループ はるにれ)